

第 4 章 大西洋世界の変容とその波及

1 節 ヨーロッパとアメリカの諸革命

★このプリントは解説スライドを含め授業 2 時間分の学習に相当します。

2 アメリカ独立革命

教科書 p. 82-83

Q. 18 世紀ヨーロッパの啓蒙思想は、18 世紀後半～19 世紀前半の諸革命にどのような影響を与えたのか？

☆作業 1<知識と理解>教科書を参照しながら、空欄を埋めなさい。

■13 植民地の形成

①イギリスの 13 植民地建設——17 世紀はじめに最初の植民地〔①〕建設→18 世紀前半までに 13 植民地が成立

②北部と南部の相違——

(ア)北部——〔②〕が農業中心に自治的な社会を形成

(イ)南部——タバコ・米などの〔③〕経営, 多くの〔④〕の導入

■フレンチ・インディアン戦争

①フランスの進出——カナダの〔⑤〕からオハイオ川流域に進出

②フレンチ・インディアン戦争——ヨーロッパでの〔⑥〕と同時期にイギリスとフランスはアメリカでも戦争

③イギリスの勝利——カナダ・ミシシッピ川以東を領有

■ボストン茶会事件

①植民地とイギリス本国の対立——イギリスが〔⑦〕を制定して植民地に課税→植民地側は「〔⑧〕」と反対→撤回

②ボストン茶会事件——イギリス本国の〔⑨〕制定に対する抗議から勃発→植民地と本国の対立激化

■独立戦争と独立宣言

①独立戦争の勃発——植民地代表がフィラデルフィアで〔⑩〕開催 (1774) →〔⑪〕で武力衝突 (1775) →〔⑫〕が総司令官に

②独立宣言の発表 (1776.7.4) ——〔⑬〕らが起草, 人間の平等や圧政に対する革命権を主張

③植民地側の勝利——フランスなどの参戦, 義勇軍の参加でイギリス孤立→

〔⑭〕条約で独立承認 (1783)

■合衆国憲法の制定

①憲法制定会議 (1787) ——合衆国憲法を制定

②合衆国憲法の特徴——人民主権と〔⑮〕の原則, 連邦制の採用

☆作業2<知識と理解>以下にあげる4つの用語はいずれもアメリカ独立戦争の原因となったと考えられるものである。教科書を参照しながら、これらがなぜ独立戦争の原因となったと言えるのか簡潔に述べなさい。場合によってはネットや他資料を活用すること。

<長期的原因>

|        |                 |
|--------|-----------------|
| ① 七年戦争 | ② フレンチ・インディアン戦争 |
|--------|-----------------|

<短期的原因>

|        |      |
|--------|------|
| ③ 印紙税法 | ④ 茶法 |
|--------|------|

☆作業3<応用と分析>アメリカ独立宣言には、啓蒙思想の影響が多く指摘される。以下のウェブサイトよりアメリカ独立宣言の本文、冒頭二段落を読み ①**社会契約説** ②**ロックの革命権** に影響を受けている部分を示しなさい。(方法は自宅の学習環境に応じてハイライトしたり抜き書きするなど可能な範囲で行うこと)

American Center Japan 「アメリカの歴史と民主主義の基本文書 独立宣言」

<https://americancenterjapan.com/aboutusa/translations/2547/> (2020年4月20日現在観覧可能)